

みずほCustomer Desk Report 2016/07/21号(As of 2016/07/20)

【昨日の市況概要】

		公示仲値		106.03		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.15	1.1014	116.89	0.9862	1.3105	0.7507
SYD-NY High	107.03	1.1030	117.92	0.9905	1.3228	0.7517
SYD-NY Low	105.83	1.0980	116.56	0.9851	1.3065	0.7462
NY 5:00 PM	106.89	1.1018	117.76	0.9872	1.3209	0.7476
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	15.985/16.46		Δ25RR	0.913	Yen Call Over	
NY DOW	18,595.03	36.02	債券市場			
NASDAQ	5,089.93	53.56	日本2年債	-0.3220	▲0.3bp	
S&P	2,173.02	9.24	日本10年債	-0.2320	▲1.3bp	
日経平均	16,681.89	▲41.42	米国2年債	0.7101	2.0bp	
TOPIX	1,330.75	▲0.64	米国5年債	1.1347	2.4bp	
シカゴ日経先物	16,935	▲255.00	米国10年債	1.5801	2.7bp	
ロンドンFT	6,728.99	31.62	独10年債	-0.0110	1.9bp	
DAX	10,142.01	160.77	英10年債	0.8350	3.4bp	
ハンセン指数	21,882.48	209.28	豪10年債	1.9200	-	
上海総合	3,027.90	▲8.70	為替市況			
USDJPY 3M Vol	13.68	0.45%	USD/CNH	6.6785	▲0.0320	
USDJPY 6M Vol	12.84	0.23%	ドルインデックス	97.14	0.08	
EURJPY 3M Vol	14.40	0.47%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	13.71	0.23%	CRB指数	185.086	▲1.02	
			NY金	1,319.300	▲13.00	
			WTI	45.750	0.30	
			Dubai Spot	42.87	0.14	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月20日	9:30	豪 ウエストバック景気先行指数(前月比)	6月 -0.22%	-
	17:00	欧 経常収支(季調前/季調後)	5月 €15.4B/€30.8B	-
	17:30	英 失業率/ILO失業率	6月 2.2%/4.9%	2.2%/5.0%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.3%
	23:00	欧 消費者信頼感(一次速報)	7月 -7.9	-8.0

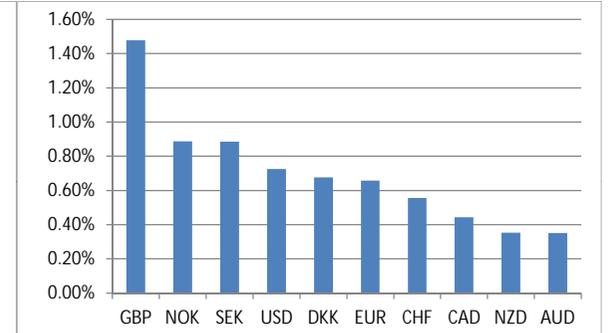
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月21日	13:30	日 全産業活動指数(前月比)	5月 -1.1%	1.3%
	15:00	日 工作機械受注(確報、前年比)	6月 -	-19.9%
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	6月 -0.6%/5.0%	0.9%/6.0%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	-	0.000%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	265K
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.48M	5.53M
	23:00	米 先行指数	6月 0.2%	-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.20-107.70	1.0900-1.1100	116.50-118.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円は大きく上伸する展開となった。BREXIT後の金融市場が落ち着きを取り戻し、リスク回避の流れが大きく後退する中で、米金利上昇やNYダウの9連騰など底堅い米国株、シカゴ日経平均先物の堅調さなどにドル円は下支えされる展開。月末の日銀金融政策決定会合での追加緩和観測が燃る中で、安倍政権が20兆円超の経済対策を検討しているとの報道なども相俟って、一段と円売りが広がるドル円は英国国民投票直後の高値106.87を更新、6月10日以来となる107円台まで上昇し107.03高値をつけた。円安基調を引き継ぎ本朝方には一時107.46まで上値を伸ばしている。足許ではトルコクーデター後のリスクオフムードの拡がりは見られず、BREXIT決定後の悲観的な動きは巻き戻され、マーケットには楽観ムードが拡がりつつある印象。かかる状況下、本日のドル円は底堅い値動きが想定される。本日の注目イベント、ECB理事会では現行政策が維持される公算で、一時的にはユーロ相場が上下する場面は考え得るも、市場参加者の視線は来週の日銀金融政策決定会合へ注がれていると考えられ、ドル円相場の反応は限定的なものになりそう。本邦経済対策、追加金融緩和への期待感に加え、相次ぐ良好な米経済指標を背景に年内の米追加利上げ観測が俄かに再燃しつつあるところ、来週のイベント通過まではドル円も底堅さを垣間見せる相場展開が続くと見られる。ただし、株式市場・ドル円相場ともに高値圏での利益確定フローに下押しされる場面には警戒しておきたい。

東京	東京時間のドル円相場は106.15レベルでオープン。前日まで6日続伸していた日経平均株価が安寄り後、ポジション調整と見られる売りも入り下げ幅を拡大、ドル円は連れ安となり、106.00を割れて105.83の安値をつける。しかし、特段の材料のない中で下げ幅も限定的で、午後には日経平均株価が下げ幅を縮小するとドル円は106円台前半まで買い戻される。結局、その後は同水準でもみ合い推移し、106.26レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.26レベルでオープン、7月の日銀金融政策決定会合(28-29日)を前に、追加緩和観測が浮上する中、106.71まで上昇。その後は106円台半ばで堅調に推移し、106.50レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1020レベルでオープン、21日(木)にECB理事会を控えていることから、様子見ムードが広がり、1.1000を挟んだ小動きに終始。結局、1.1012レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は、106.50レベルでNYオープン。米株式市場が底堅く推移する動きにじり高で推移し、106.92まで上昇する。フォアス英中銀委員が「BOEが利下げするには更なるエビデンスが必要」と話したことからポンドが買われてポンド円が上昇する動きに加え、「日本政府が事業費20兆円超の経済対策を検討している」と本邦通信会社が報じたことから、ドル円は107.03まで上昇する。終盤に掛けてはポジション調整から小緩み、106.89レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1012レベルでNYオープン。全般的にドル買い地合となる中、1.0992まで下落するが、その後は下げ渋り1.1030まで戻す場面も見られた。午後は21日(木)にECB理事会を控える中、1.1000-1.1010の狭いレンジでの推移が続く。前述のフォアス英中銀委員の発言を受け、ポンド買いの地合いとなるとユーロも小幅ながら連れ高となり、1.1021まで上昇。結局、1.1018レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。